



あつま

社協だより

子ども達と

和太鼓響く
笑顔の交流



8月1日（金）、19日（火）、21日（木）の3日間、厚真郷芸保存会（畑嶋安雄会長）の皆さんが児童会館に訪れ、「いきいきサポート事業」のご利用者に太鼓の演奏を披露してください、交流のひと時を過ごしました。

はじめに、いきいきサポート事業の利用者さんに太鼓の体験もさせていただきました。夏休み期間中の小学低学年から中学生までのメンバーが、バチの持ち方や太鼓の打ち方を教えてくださいました。

「私も昔、太鼓を打ったことがあったんだよ」と、昔の懐かしい思い出話を聞かせてくれる利用者さんもありました。



郷芸保存会の皆さんは子どもから大人

まで幅広い世代のメンバーで活動されています。町内外のイベントや定期演奏会の開催、コンクールの出場など、年間を通じて多忙な演奏活動を行っています。太鼓の迫力と子ども達の一生懸命な姿を間近に見た利用者さんは、感動して目を潤ませたりしながら子供たちの演奏に大きな拍手を送っていました。

演奏してくれた子ども達や関係者の方々も「また来たい」、「いつでも声をかけてください」と言ってくださり、これからも交流が続いていくことを楽しみにしています。



発行者 社会福祉法人厚真町社会福祉協議会（〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町158番地）
TEL 0145-26-7501/FAX 0145-26-7655 /ホームページ <https://atsuma-shakyo.or.jp/>



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



新会長就任のご挨拶

社会福祉法人厚真町社会福祉協議会会長 吉岡 茂樹

日頃より地域福祉の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび厚真町社会福祉協議会の会長に就任いたしました。会長という大役をお引き受けするにあたり、身の引き締まる思いであります。まずは、長年にわたり本会を支えてこられた歴代会長をはじめ、役職員、各種関係団体、ボランティアの皆様、そして日々の活動にご協力いただいている地域住民の皆様に、心より感謝申し上げます。

現在、少子高齢化の進行、独居高齢者の増加、生活困窮、障がいへの理解、地域のつながりの希薄化など、福祉を取り巻く課題は多様化・複雑化しています。こうした課題に対し、住民一人ひとりが関心を持ち、互いに支え

合う「地域共生社会」の実現が強く求められています。また、平成30年北海道胆振東部地震からコロナ禍を経て7年が経過しますが、地域の復興とコミュニティーづくりとともに地域福祉の再構築を推進していくことが重要です。

社会福祉協議会では福祉を取り巻く課題や環境の変化に対応しながら、地域に根ざした役割を果たすため、行政や関係機関、町内の福祉団体、民生委員・児童委員の皆様とも密に連携した支援の体制づくりを進めるとともに、誰もが取り残されず、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、共に考え、行動していける社会を目指してまいります。

結びにあたり、厚真町社会福祉協議会の活動に対し、皆様の引き続きのご理解と温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます就任のご挨拶とさせていただきます。

令和7年度6月定時評議員会終了

6月26日（木）総合福祉センターで厚真町社会福祉協議会定時評議員会を開催し、令和6年度事業及び決算について報告・承認されました。

任期満了に伴う新役員の役員改選を行い、長年にわたり会長を務められた大橋正治前会長が勇退され、7月9日開催した理事会において吉岡茂樹会長が新たに就任しました。

令和7年度厚真町社会福祉協議会会長表彰

6月定時評議員会において、厚真町社会福祉協議会会長表彰の表彰式を行いました。長年にわたり地域福祉の向上に尽くされた方々の功績に心から敬意を表するとともに、社会福祉協議会に対し温かいご支援を賜り役職員一同深く感謝申し上げます。



■表彰

長年にわたり厚真町社会福祉協議会評議員として地域福祉向上に尽力された方（1名）

- ・ 當田 昭則 様（本郷）
…評議員10年以上

■感謝

厚真町社会福祉協議会に対し多額の金員・物品を寄付された方（7名）

- ・ 池田 好彦 様（厚 和） ・ 大垣 良昭 様（豊 沢）
- ・ 中山 章 様（上厚真） ・ 橋本カズ子 様（高 丘）
- ・ 畑嶋 賢蔵 様（東 和） ・ 藤澤 政義 様（共 和）
- ・ 前田 尚 様（むかわ町）

理事・監事 （任期：令和9年6月定時評議員会終結時まで）

役職	氏名	区分
会長	吉岡 茂樹 ㊞	有識者
副会長	山路 秀丘 ㊞	有識者
〃	高橋 眞理子 ㊞	身障支部
理事	遠藤 久代 ㊞	ボランティア
〃	北島 美保 ㊞	こぶし会
〃	玉木 秀幸 ㊞	民生委員協議会
〃	中村 昇洋 ㊞	保護司会
〃	橋場 直人 ㊞	福祉施設
〃	本瀬 英司 ㊞	遺族会
〃	吉井 稔 ㊞	老人クラブ
監事	木戸 知二 ㊞	有識者
〃	兵頭 利彦 ㊞	有識者

評議員 （任期：令和11年6月定時評議員会終結時まで）

区分	氏名	区分	氏名
自治会	大原 康雄 ㊞	自治会	西村 直人 ㊞
〃	吉村みゆき ㊞	〃	國本 裕子 ㊞
〃	岡橋 厚子 ㊞	〃	館山 睿 ㊞
〃	畑嶋 賢蔵 ㊞	〃	河村 敏弘 ㊞
〃	森本 雅彦 ㊞	〃	山口 秀雄 ㊞
〃	高橋 久 ㊞	福祉施設	楠木 哲郎 ㊞
〃	西村さゆり ㊞	福祉団体	西谷 芳則 ㊞
〃	佐藤 洋介 ㊞	ボランティア	栃木美江子 ㊞
〃	佐藤 忠美 ㊞	有識者	酒井 精司 ㊞
〃	田中 淳一 ㊞	〃	宮副恵美子 ㊞
〃	伊藤富志夫 ㊞	〃	佐々木京子 ㊞
〃	向江 道雄 ㊞	〃	遠藤 賢一 ㊞
〃	今野二三男 ㊞		

厚真町社会福祉協議会の令和6年度決算

資金収支計算書

(単位：円)

収入科目	決算額	支出（事業区分）	決算額
会費収入	895,600	法人運営事業	45,091,670
寄附金収入	1,858,728	法人後見事業	3,682,427
経常経費補助金収入	48,923,095	共同募金配分事業	450,048
受託金収入	26,494,118	居宅訪問介護事業	11,333,374
貸付事業収入	40,000	高齢者生活自立支援事業	6,708,782
事業収入	1,024,800	人工透析患者等送迎サービス	5,138,000
介護保険事業収入	15,023,417	居宅介護支援事業	18,779,887
受取利息配当金収入	26,992	地域福祉事業	7,128,660
その他の収入	59,645	高齢者共同住宅LSA配置事業	1,452,000
その他の活動収入	14,365,614	重層的支援体制整備事業	12,766,000
		その他	1,217,371
収入合計(1)	108,712,009	支出合計(2)	113,748,219
		当期資金収支差額(1)-(2)	▲5,036,210

貸借対照表

(単位：円)

資産の部	決算額	負債・純資産の部	決算額
流動資産	92,199,165	流動負債	18,201,187
固定資産		固定負債	15,495,645
基本財産	1,000,000	負債の部計	33,696,832
その他の固定資産	66,469,347	純資産の部計	125,971,680
資産の部計	159,668,512	負債及び純資産の部計	159,668,512

困ったときの福祉の相談窓口

暮らしの困りごと相談

社協の「心配ごと相談所」

社会福祉協議会では、身近な福祉の相談窓口として「心配ごと相談所」を開設しています。地域の民生委員児童委員や社協の専門職員などがご相談に応じています。

「どこに相談したら良
いか分からない」という場合でも、抱え込まずご相談ください。



電話0145-26-7501

生活福祉資金貸付制度

相談窓口は社会福祉協議会

経済的に困難な低所得者や高齢者、障害者を支援するための公的な貸付制度である「生活福祉資金」については社会福祉協議会までご相談ください。

胆振身体障害者福祉協会厚真支部 スポーツ大会と視察研修



支部対抗の競技を楽しんだスポーツ大会

7月5日（土）～6日（日）に胆振身体障害者福祉協会厚真支部（高橋眞理子支部長）の会員等14名が白老町で開催された第51回胆振身体障害者福祉協会スポーツ大会に参加し、様々な競技を通じて各町の支部との親睦を深めました。

厚真支部ではスポーツ大会に引き続き洞爺湖温泉に宿泊し、洞爺湖ビジターセンター、火山科学館などを視察見学しました。会は会員家族や賛助会員の協力により活動しており、引き続き会員や賛助会員の入会を呼び掛けています。



親睦を深めた視察研修



厚真町の英霊も祀られる月寒忠霊塔

戦後80年、平和への祈り 今も～厚真町遺族会

第二次世界大戦の終戦から80年を迎えるなか、厚真町遺族会（藤井隆之会長）では、戦争で肉親を失った遺族会員とともに慰霊と平和を祈る活動を続けています。

会では長年にわたり町や北海道、国などが主催する追悼式典への参加や英霊が祀られる神社などの参拝、町内の石碑公園に建立した忠魂碑の維持などを行ってきました。

今年7月24日（木）には、厚真町遺族会副会長 加勢敏和さんが、厚南中学校（小林博幸校長）の全校道徳授業の講師として招かれ、戦争当時小学生だった加勢さんは、戦争で亡くなった叔父の思い出や当時の生活体験などを交えながら平和の大切さを語りかけました。



戦争当時の記憶を語る加勢さん



忠魂碑を参拝する遺族会員

8月22日（金）には町主催の追悼式典の日程に合わせ、コロナ禍後では初めて、つたえり公園（京町）にある忠魂碑の参拝を実施。遺族会の会員数は52人と約30年で約半数となりましたが、変わらぬ平和への思いを大切に守り続けています。

ご寄附

(令和7年4月1日～7月31日 ご芳名は同意をいただいた方のみ掲載しています)

■ 社会福祉協議会へのご寄附

安田 憲司 様 (宇 隆)	松原 幸子 様 (美 里)
高田 照明 様 (京 町)	金光 朋充 様 (軽 舞)
中田 実 様 (上厚真)	西村 栄一 様 (共 栄)
多田 喜代松 様 (美 里)	畑山 榮 様 (表 町)
鹿野 美枝子 様 (朝 日)	三上 洋子 様 (朝 日)
丹羽 裕文 様 (豊 丘)	合計 607,849円 (12件)
成田 文子 様 (富 里)	

■ 物品等のご寄附

温かい善意に感謝申し上げます

苫東石油備蓄株式会社様 (苫小牧市) ペットボトルキャップ 48kg・リングプル1.3kg・使用済切手538枚/郵便局長夫人会 胆振東部会様 (本郷) リングプル820g/ボランティアDIWAプロジェクト代表 風間扶美子様 (佐賀県) さつまいも苗600本・ミニトマト3kg/明治安田生命保険相互会社苫小牧支社千歳営業所様 (千歳市) リングプル3.8kg・ペットボトルキャップ10.9kg/匿名 (3件)、ペットボトルキャップ6.4kg、使用済切手115g



10月1日から全国一斉に 赤い羽根共同募金運動が始まります

今年で79回目となる赤い羽根共同募金運動。地域の福祉活動や災害支援活動などを支えてきた大切な募金運動です。町内においても様々な機会を通じて募金のご協力を呼び掛けておりますので、温かいご協力をお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金 「ぬりえ作品募集」

厚真町共同募金委員会では、赤い羽根共同募金運動を広く知っていただくことを目的に、ご当地ピンバッジのデザインをもとにした「ぬりえ作品」を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。



- 締め切り 10月31日 (金) まで
- 応募用紙 折り込み配布のほか厚真町社会福祉協議会のホームページからダウンロードできます。
※応募作品は主催者に帰属します。応募者全員に記念品を差し上げます。
- 応募・お問い合わせ 厚真町共同募金委員会
厚真町京町158番地 電話0145-26-7501 (社協内)



好評！赤い羽根ご当地ピンバッジ

地域限定ピンバッジを500円以上の募金で差し上げています。上厚真郵便局、厚真神社社務所に募金箱、こぶしの湯あつまにカブセルトイ (ガシャポン) を設置しています。

8/23 ならやまマルシェ 落語会を開催しました



落語家の慎太郎師匠 (右) と、
災害ボランティアの助さん (左)

8月23日 (土) に厚北地域防災コミュニティセンター「ならやま」で開催された「ならやまマルシェ」会場にて、昔々亭慎太郎師匠による落語会を開催しました。慎太郎師匠は平成30年北海道胆振東部地震の翌年4月に、全国で災害ボランティアとして活動する吉村誠司さん (通称「助さん」) とともに東京から来町され、落語を通じて町民と交流いただいたご縁がありました。

今回も豪雨災害の九州から駆け付けた助さんとともに来町し、コミュニティーの復興に取り組む住民の皆さんと交流を深めながら、地域の復興や全国の被災地について考える機会となりました。

■福祉関係功労者の表彰

胆振地区老人クラブ連合会

功労者表彰 (令和7年5月27日)

長年にわたり老人クラブ連合会の役員として尽力された方 (3人)

- 吉井 稔 様 (豊松会)
- 笹島 厚子 様 (鹿沼長寿会)
- 村田 幸子 様 (鹿沼長寿会)

戦没者遺族援護功労者知事感謝状

(令和7年6月4日)

長年にわたり戦没者遺族の援護に尽力された方 (4人)

- 沼田 一洋 様 (宇 隆)
- 松崎 松太郎 様 (新 町)
- 山口 清光 様 (本 郷)
- 上村 正夫 様 (鹿 沼)

厚真町遺族会会長表彰

(令和7年8月22日)

長年にわたり厚真町遺族会の役員として尽力された方 (1人)

- 本瀬 英司 様 (表 町)